

国内ジャーナリスト研修「ヒロシマ講座」研修員募集要項

被爆の実相やヒロシマの心をみんなに伝えたい。
そんな思いを持つジャーナリストの方を研修員として募集します。

被爆から79年が経過し、被爆者の高齢化、被爆体験の風化が進むとともに、若者の平和意識の低下が懸念されています。

こうした中、広島市では、人類史上最初の被爆地として、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向けた世論の醸成を図るため、「国内ジャーナリスト研修『ヒロシマ講座』」を実施します。

これは、国内及び海外マスメディア等の若手ジャーナリストを対象に、被爆の実相やヒロシマの心について総合的・体系的に学ぶ研修プログラムを開設し、研修の成果を報道や論説活動を通じて広く国内外に発信していただくものです。

この研修への参加を希望されるジャーナリストを広く募集します。

1. 応募資格等

国内マスメディア各社（新聞社、放送局、通信社、出版社等）及び日本に駐在する海外マスメディア各社の若手ジャーナリスト（フリーランスを含む）で、研修の成果を広く発信していただける方。ただし、広島地域を取材エリアとして活動されている方を除きます。

※ 研修の受講生決定後、受講される方の社名・氏名を本市 HP 等で公表させていただきます。

2. 募集期間

令和6年6月21日（金）～令和6年7月8日（月）（必着）

3. 募集人数

10人。応募者が多数の場合は、応募書類を審査の上、選定します。

（1社につき1人を限度とします。）

4. 応募方法

次の①～④の書類を7の応募先に提出してください。なお、提出された書類は返却いたしませんので、あらかじめ御了承ください。

①履歴書：市販のもの

②小論文：研修を受けるに当たっての抱負等を記述したもの(800字程度、任意様式)

③推薦書：推薦者（原則として応募者の上司の方）の氏名、役職及び連絡先並びに推薦理由を記載したもの（任意様式）

④連絡票：応募者の氏名・担当部署名及び所在地・連絡先・Eメールアドレスを記載したもの（任意様式）

※ フリーランスの方は、推薦書の代わりに、御自身が書いた記事の掲載実績がわかる資料を提出して下さい。

5. 研修の概要

(1) 研修期間

7月28日（日）～8月7日（水）

※7月27日（土）は来広日として宿泊場所をご利用いただけます。

(2) 研修内容（予定）

- ①被爆の実相や原爆被害対策、平和行政についての講習
- ②核兵器廃絶に取り組む市民や被爆者へのインタビュー
- ③平和記念式典等の平和関連行事の取材 等

※ 昨年度参加者の声

- ・被爆者の話を聞くのは初めてで、恐ろしさ、悲しさ、悔しさをひしひしと感ずることができた。
- ・若い方が従来の型にはまらない形で平和推進の活動をしようと、試行錯誤していることが分かった。
- ・行政、市民それぞれの取組を知ることができてよかった。
- ・これほど印象に残った研修はなく、記者として自分に何ができるか考えさせられた。

6. 研修の費用について

次の①～③の費用は、広島市が負担します。

- ①研修内容に係る経費
- ②研修のためのサービス供与（執務場所の確保）
- ③宿泊費（7月27日（土）チェックイン～8月7日（水）チェックアウト）

※ 広島市までの往復旅費等は研修者の負担となります。

7. 応募先（問合せ先）

広島市 市民局 国際平和推進部 平和推進課

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

電話 (082) 242-7831

FAX (082) 242-7452

E-mail peace@city.hiroshima.lg.jp

広島市ホームページアドレス <http://www.city.hiroshima.lg.jp/>

広島市ホーム>原爆・平和サイト>平和への取組・平和学習>国内ジャーナリスト研修